

県経済訪問団 台湾へ出発

県台湾経済訪問団が7日、富山市の富山空港で結団式を開いた。一行は同日、台湾に出发し、11日まで滞在。台北市でセミナーを開いて富山のものづくりをアピールするほか、現地企業との商談会、伏木富山港利用促進に向けた意見交換会などを開く。

結団式で、団長の荒木県商工労働部長が「工業集積地である富山を積極的にPRしていきたい」とあいさつ。県機電



工業会長で、副団長を務める野村正也北陸電気工業会長は、近年は国内企業の中国進出が目立つとしつつも「台湾は親日家が多い。富山との定期便就航は台湾を見直す良い機会になる」と述べた。写真。訪問団は台湾でのビジネス展開に意欲がある県内9社の代表のほか、随員の県新世紀産業機構や県の担当者ら計17人で行く。10日に知事を団長とする県台湾観光訪問団と

合流する予定。

▽団員 田中一郎(県機電工業
会副会長、田中精密工業会長) 堀
井弘之(同副会長、コマツNTC
会長) 杉野芳宏(同常任理事、ス
ギノマシン会長) 池田進(県新世
紀産業機構専務理事) 上野勝志(伏
木海陸運送営業部次長) 蒲原彰三
(三協マテリアル社長) 十二慎一
郎(タカオカメカ代表取締役) 杉
野良暁(スギノマシン常務執行役
員海外事業本部長) 杉山吉博(コ
マツNTC執行役員資材本部長)
星野昇(津根精機執行役員工機事
業部長) 森弘吉(エムタイヤ代表
取締役)

県経済訪問団

ものづくり 台湾でPR

定期便活用へ初セミナー

県台湾経済訪問団(団長・荒木県商工労働部長)は8日、台北市のホテルで「富山ものづくりセミナー in 台北」を開いた。4月16日の富山―台北の定期便就航を追い風に、県が県内企業の販路拡大を支援しようと台湾では初めて企画した。機械や電気、電子に関する現地の企業約35社の担当者ら約60人が出席。台湾でのビジネス展開に意欲のある県内6社が独自技術売り込み、富山のものづくりをアピールした。



日本と台湾の産業や技術面 日産業技術合作促進会」の陳添枝理事長は「台湾と富山の企業が連携を深め、経済交流を発展させる大きなチャンスになる」とあいさつ。訪問団側は商工労働部長が富山

の立地、空港や港湾などのインフラの整備状況、産業の特徴などを説明した。訪問団に参加したエムタイヤ(滑川市)コマツNTC(南砺市)スギノマシン(魚津市)タカオカメカ(射水市)津根精機(富山市)北陸電気工業(同)の6社の代表がそれぞれプレゼンテーションを行い、自社製品や独自の技術をPRした。続いて開かれた商談会には田中精密工業(同)も加わり、県内7社が、台湾企業と具体

的なビジネスに向けて踏み込んで情報交換し、約30件の商談が行われた。県が海外で県内企業を紹介するセミナーを開くのは昨年のタイに続いて2カ国・地域

目となる。富山―台北便就航を受けた台湾での販路拡大に向けた県の支援策は今回のセミナーのほか、9月に台湾企業も出展する総合見本市を富山市内で開く。台湾に進出している県内企業は5社ある。富山と台湾との貿易額はリーマンショックなどの影響で一時、減少したものの、2010年から回復している。11年は137億円で、01年の108億円に比べると1・3倍に伸びた。

県内企業の販路拡大に向けて開かれた現地企業との商談会。台北市内のホテル

台湾に進出している県内企業との懇談会であいさつする副団
長の野村会長(右)＝10日、台北市のホテル「国賓大飯店」



県台湾経済訪問団

連携し発展目指す

県台湾観光訪問団に先立ち、県台湾経済訪問団(団長・荒木県商工労働部長)が7日、富山―台北便で台湾に入り、現地企業との商談会などで富山のものづくりをアピールし、台湾に進出している県内企業との懇談会も開いた。

8日に台北市のホテルで「富山ものづくりセミナー台北」を開催。台北便就航を追い風に、県が県内企業の販路拡大を支援しようと台湾では初めて企画した。訪問団に参加したエムダイヤ(滑川市)、コマツNTC(南砺市)、スギノマシン(魚津市)、タカオカメラ(射水市)、津根精機(富山市)、北陸電気工業(同)の6社が、現地企業約35社に対し自社製品や独自の技術をPRした。続く商談会には、田中精密工業(同)も加わった。

9日は現地企業や経済団体を訪問。10日は、台湾に進出している県内企業との懇談会を開催し、石井知事も出席した。あいさつに立った副団長の野村正也北陸電気工業会長(県機電工業会長)は「台湾と手を取り合い県内企業の発展につなげていきたい」と述べ、団員の田中一郎田中精密工業会長(同副会長)も「新たに連携する」という気持ちを持って、台湾とともに歩んでいきたい」と語った。

懇談会には堀井弘之コマツNTC会長(同副会長)、杉野芳宏スギノマシン会長(同常任理事)らも出席。YKK台湾社の川上均総経理(社長)、建越工業の上野哲雄総経理らと交流を深めた。